

日本脊椎脊髄病学会

令和4年度第1回ヒストリアン委員会

日時： 令和4年4月21日（木）7:00～7:40

会場： パシフィコ横浜ノース 2階 G218

出席者：千葉一裕（担当理事）、永島英樹（委員長）、高畑雅彦、相澤俊峰、大島 寧、
明田浩司、橋爪洋、寒竹 司、土屋邦喜、根尾昌志（アドバイザー）

欠席者： 國府田正雄

1. 理事会報告

千葉担当理事からヒストリアン委員会新設の経緯および状況の説明があった。日本医学会 120 周年からの依頼で JSSR の歴史に関する原稿作成した際に、JSSR でも 50 周年の記念誌を発行しようということになった。1000 万円程度の予算が承認され、2025 年発刊に向けて準備をすすめる。

2. 日本脊椎脊髄病学会 50 周年記念誌編集作業について

永島委員長より作業予定について説明がなされた。

- 英文要約も作成する予定である。

- 脊髄障害学会の第 50 回記念誌を作成した実績のある今井印刷に見積もり依頼。
校正などの質の高い会社であり信頼できる。
- 資料は将来に備えてアーカイブ用サーバに保存することとなり、契約も承認が
すんでいる。
- 根尾教授が第 50 回学術集会を主催された際に集められた資料を土台にして作
成をすすめる。資料はすでにご提供いただき、Google drive で共有されている。
- 記念誌企画案（別紙）に沿って説明がなされた。日本脊髄障害医学会第 50 回記
念誌、日本側彎症学会第 50 回記念誌を参考にできる。
- 臨床整形外科雑誌（JSR などが発刊前は、機関紙のような役割を果たしていた）
に脊椎外科学会から脊椎脊髄病学会に代わったときの経緯に関する原稿があっ
たはずであり、著作権の問題がクリアされればそのまま。
- 学会プロジェクト研究については、英文化された論文を記載する。
- 各委員会に活動内容の報告を依頼することを検討する。
- DVD などを使用しデジタルデータ込みで発刊することも考える。ただし、見る
人が少ないかもしれない。

3. その他次回は JOA 総会の際に集まる予定

次回までに目次（案）を含めた編集方針につき、各自考えを纏めておくこととなった。